

2025年度（第3期）九州大学 稲盛フロンティアプログラム 応募書類 記入要領

提出する書類のうち、以下の二つについてはこの要領に従い作成すること。

- ・「応募書類①（応募者情報シート）」（指定様式・excel ファイル）
 - ・「応募書類②（研究情報シート）」（自由様式・pdf ファイル）
- ※ 日本語または英語のうち応募者が希望する言語にて作成すること。

なお、応募書類に記載した内容に重大な不備があった場合は、審査に付さないことがありますのでご了承ください。

1. 応募書類①（応募者情報シート）

- ・指定の様式（excel ファイル）にて作成すること。
- ・様式は改変しないこと。記入スペースが不足する場合、行の高さ変更のみ可能とします。
- ・作成後はファイル名を「応募書類①（●●）」（※●●は応募者の指名）とし、excel 形式のまま提出すること（pdf ファイルに変換しないこと）。
- ・各項目は以下の説明に従い記入または選択すること。

1. 応募者の基本情報

①氏名

応募者の氏名を正しく記入してください。

「漢字等」の欄に日本語又は英語により氏名を記入し、「フリガナ」の欄にその読みをカタカナにて記入すること（「漢字等」を英語により記入した場合、「フリガナ」の記入は不要）。

②生年月日（西暦）

生年月日を西暦にて記入してください。

右側の「R7.4.1 時点年齢」は自動で表示されますので、記入しないでください。

③性別

性別をプルダウン（男性、女性、どちらでもない、回答しない）から選択してください。

④国籍

国籍（国名）を記入してください。

⑤電話番号

連絡の取れる電話番号を記入してください。

⑥メールアドレス

連絡の取れるメールアドレスを記入してください。

⑦現住所

現住所を、郵便番号から記入してください。

⑧学位

学位について、称号及び取得機関、取得年月日を西暦で記入してください。

例) 博士(工学) 取得機関: ○○大学 取得年月日: 1988年1月1日

⑨現在の所属機関及び職名

現在の所属機関及び職名をそれぞれの欄に正確に記入してください。

なお、複数の機関に所属する場合や複数の職名を有する場合は、主要なものを一つだけ記入すること。

例) 所属機関: ○○大学○○研究院○○学部門○○学分野 職名: 助教

⑩研究中断期間 (該当者のみ)

出産・育児等の理由により、一定期間研究活動を中断していた時期がある場合のみ、記入する項目です。「期間(年)」の欄には中断期間(累計)を年単位(6か月以下を切り捨て、7か月以上を切り上げとする)にて記入し、「説明」の欄には中断の理由・期間を記入してください。

例) 期間(年): 3 説明: 出産・育児休業(H25.4.1~H27.3.31、H31.4.1~R2.6.30)

※ 出産・育児等の理由によらず、研究活動を行っていなかった時期(例: 他業種での勤務)については、算入できません。

2. 応募者の論文に関する情報

⑪e-Rad 研究者番号

e-Rad 研究者番号(8桁)を記入してください。取得していない場合、記入は不要です。

⑫researchmap ID

researchmap 研究者ページのURLを記入してください。該当ページがない場合、記入は不要です。

⑬Scopus 著者 ID

Scopus 著者ページのURLを記入してください。該当ページがない場合、記入は不要です。

⑭ORCID ID

ORCID 研究者ページのURLを記入してください。該当ページがない場合、記入は不要です。

⑮第一/責任著者となっている査読あり原著論文数

第一著者または責任著者となっている、査読ありの原著論文数を記入してください。

⑯第一/責任著者以外の査読あり原著論文数

第一著者または責任著者以外で著した、査読ありの原著論文数を記入してください。

※ ⑮⑯については、原著論文についてのみ記入してください。著書等の業績については、応募書類②の「(4) 研究業績」にてご記入いただけます。

⑰その他本人情報のある web サイトの URL

Google scholar や ResearchGate など、その他応募者の研究に関する情報が記載されている web サイトがあれば URL を記入してください。

3. 受入、審査に関する情報

⑱受入希望部局・部門

研究活動の実施場所として受け入れを希望する研究院・研究所等（以下、「受入部局」）を、第1希望から第3希望まで、部局（左側）、部門（右側）ともにプルダウンから選択してください。

なお、本学の部局及び部門については、応募書類①の excel シートのタブ「参考 研究院、部門一覧」からご確認ください。

※ 部局（左側）だけでなく、必ず部門（右側）まで選択してください。

- 例) 第1希望：工学研究院 化学工学部門
第2希望：工学研究院 応用化学部門
第3希望：総合理工学研究院 物質科学部門

⑲審査を希望する系統

審査のうち、書面審査（第1次選考、第2次選考）は以下のア～ウの3系統に分けて行いますので、審査を希望する系統をプルダウンから選択してください。

- A. 人文、社会、芸術系
- B. 理工学系
- C. 医歯薬学、農学、生命科学系

ただし、受入希望部局や研究分野に応じて、審査系統を変更する場合があります。審査系統の変更に了承いただける場合は、該当欄のプルダウンから「審査系統の変更に了承する」を選択してください。

⑳自分の研究分野に近い科研費の審査区分

自分の研究分野に近い科研費の審査区分を、近いものから三つ、大区分・中区分・小区分すべてプルダウンから選択してください。

なお、科研費の審査区分については、応募書類①の excel シートのタブ「審査区分表」もしくは下記日本学術振興会の HP からご確認ください。

https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/02_koubo/shinsakubun.html

- 例) 1 つ目 : 大区分 D 化学工学およびその関連分野 反応工学およびプロセスシステム工学関連
2 つ目 : 大区分 D 化学工学およびその関連分野 触媒プロセスおよび資源化学プロセス関連
3 つ目 : 大区分 D 材料工学およびその関連分野 複合材料および界面関連

4. 実験室・研究設備に関する情報

㉑実験室の要・不要

研究遂行上、教員室以外に実験室が必要な場合は要、それ以外は不要を選択してください。

㉒研究設備の要・不要

上記の実験室に工事等を伴う特別な研究設備（ドラフトチャンバー、特殊な電源装置など）または、特別な研究機器（オートクレーブ、クリーンベンチなど）が必要な場合は要、一般的な机、椅子の準備のみでよければ不要を選択してください。

㉓使用する主な研究設備

㉒で要を選択した場合、その中で主な設備、機器について3つ記入し、「九大の研究設備の共用を希望」するのか「自身の有する研究設備の移設を希望する」のか選択してください。

応募書類②（研究情報シート）

- ・自由様式とします（指定様式を設けません）。
- ・ファイル名を「応募書類②（●●）」（※●●は応募者の指名）とし、pdf ファイルにて提出すること（pdf 変換時に文字や図表等の欠落、文字化け等がないか確認すること）。
- ・文字サイズやフォントについて指定はありません。
- ・図表を用いる場合は白黒、カラーどちらでも構いません。明瞭に視認できるものとする。
- ・以下の（1）から（5）までの五つの項目について記述すること。これ以外の項目については記述しないでください。各項目にて記述する内容及び書き方については、下記の（1）から（5）の説明に従ってください。

（1）これまでの研究の概要

- ・応募者が現時点までに実施してきた研究活動の概要について、図表などを活用し、2 頁以内で分かりやすく記述すること。
- ・異なる研究分野の研究者でも大まかな内容が理解できるように、平易な表現で記述すること。
- ・以下の内容を含めること。
 - － 本研究分野の世界的な動向、意義
 - － 分野の中で応募者の研究が独創的な点、重要な点

(2) 着任後の研究計画の詳細

- ・ 図表などを活用し、2頁以内で分かりやすく記述すること。
- ・ 異なる研究分野の研究者でも大まかな内容が理解できるように、平易な表現で記述すること。
- ・ 以下の内容を含めること。
 - 研究目的、研究方法、研究内容
 - 本研究の独創性、重要性
 - 本研究が与えるインパクト・貢献

(3) 稲盛FP教員としての抱負

- ・ 1頁以内で分かりやすく記述すること。
- ・ 以下の内容を含めること。
 - 採用期間中に意欲的に取り組みたいこと
 - 稲盛FP教員として成し遂げたいこと
 - トップ研究者を目指す上で身に着けたい能力

(4) 研究業績

- ・ 通し番号を付すこと。(通し番号は項目ごとに付すこと。例. (1) 1…、2…、3… (2) 1…、2…)
- ・ 現在から過去に遡る順(降順)で記入すること。
- ・ 応募者が中心的な役割を果たしたのもののみ記入すること。応募者にはアンダーラインを付すこと。
- ・ 著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略することも可能とする。(省略する場合、「掲載されている順番/全著者数」のように記入すること。)
- ・ 以下の5つの項目に沿って記述すること。項目の変更・削除・追加は不可。
各項目で該当がない項目は「なし」と記入すること。

(1) 学術雑誌等に発表した論文等

- ・ 査読付き原著論文/総説/著書を区分して記入すること。
なお、査読付き原著論文及び総説については、第一著者または責任著者/それ以外の著者を区分して記入すること。
- ・ 査読付き原著論文及び総説の場合、
 - ・ 出版または accept されたものだけ記入すること。
 - ・ 論文名、著者名、掲載誌名、巻、最初と最後の頁、発表年(西暦)を記入すること。
- ・ 著書の場合、
 - ・ 教科書、学会抄録、講演要旨は除く。
 - ・ 出版済または出版が確定しているものだけ記入すること。
 - ・ 著書名、著者名、発表年(西暦)を記入すること。
- ・ 別途提出する別刷の主要論文・著書については、通し番号の次に★印を付すこと。

(2) 国際学会・シンポジウム等における発表

- ・ 口頭/ポスターの別を区分して記入すること。
- ・ 題名、著者名、発表した国際会議名、場所、月・年を記入すること。発表者に○印を付すこと。
- ・ 招待講演については、通し番号の次に☆印を付すこと。

(3) 特許等

- ・ 出願中、公開中、取得を明記すること。ただし、出願中のもので詳細を記述できない場合は概要のみの記述でよい。

(4) 受賞歴等

(5) その他

(5) 科研費・競争的資金の獲得状況

- ・ 現在から過去に遡る順（降順）で記入すること。
- ・ 現時点で獲得しているもののみ記入すること。
- ・ 研究代表者として実施した課題のみを記入すること。
- ・ 海外の競争的資金も対象とする。